

今村学園ライセンスアカデミー学校関係者評価書（令和4年度）

会議開催日 令和5年4月3日

開催場所 今村学園ライセンスアカデミー本校

評価作成日 令和5年4月5日

委 員 在校生保護者	1名
卒業生保護者	1名
学園関係団体役員	1名
今村学園評議員	1名
同窓会会长	1名

評 価 項 目	評価・意見
重点目標	重点目標に人格面を磨くとあるが、それへの具体的な取り組みはどんなものがあるかについて同窓会委員から質問があった。それに対し、学園から、職場はもちろんのこと、社会で生きていくためには、人とのコミュニケーションが大事であるが、まずもって挨拶をきちんとできることが最も大切なことなので、日ごろから挨拶をきちんとするよう指導しており、それが人格面を磨く基本と考えていると回答があった。その他の重点目標については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
教育理念・目標	同じく同窓会委員から、就職先から学校への要望などあるかと質問があり、毎年採用して頂いている就職先からは、特に在学中に取り組んでほしい要望はなかったように思うとの回答であったが、報告を受ける体制が必要であると考えることであった。その他の教育理念・目標については、委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
学校運営	在校生保護者から、学校が発するインスタグラムをよく自宅で見ているとの報告があり、自分の子供達の普段の様子が見て取れてとても良いとの意見であった。また、卒業生についても職場等での様子を取材してアップロードする取り組みがあつてもいいのではないかとコメントがあつた。それに対し校長から学園としては、ぜひ取り組みを検討したいと回答があつた。その他学校運営について委員全

	員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
教育活動	教員・講師の授業に対する評価は行われたか、また、GPA 評価は順調に行われているかと評議員委員から質問があった。それに対し、校長から、学生による授業評価は文章としては行っていない旨回答があり、わかりづらい講義などがあれば、個別に担任へ知らせるよう学生に要望をしており、時に報告はあるが、評価が重んじられる昨今なので、今後実施を検討したいと回答があった。また、GPA 評価は、本校は、高等教育の就学支援新制度の機関要件確認の対象校になっており、全ての教科において厳密に GPA 評価を行っていることから順調に行われていると考えている旨回答があった。その他教育活動について委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
学習成果	学習成果については、学園関係団体役員委員から、各科で就職率に差があるかについて質問があった。それに対し、学園からは、新型コロナウイルス感染症の関係で、新型コロナ感染症以前と比べて調理師科にまだ若干就職の募集が少ない傾向はあるが、回復しつつあり、全体的に就職難ということは全くないとの回答であった。また、退学の理由などで改善できる点などがあるかについて質問があったが、柔道整復トレーナー学科は3年間の学習の集大成として国家試験があるので、入学前の高校生時にスポーツに力をいれ過ぎて、学習する習慣ができていない人については、早くに授業について行けなくなり、それが退学する理由として多い。したがってその対応と改善が必要であると考えていると回答があった。また、栄養士科についても学習内容が高度であるので、同様な傾向にあり、対策が必要であると考えていると回答があった。その他学習成果については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
学生支援	学生支援室でのカウンセリングで、今年度は相談理由として主なものはどうのようなことが多かったかと卒業生保護者から質問があり、学園からは、一番は学習、二番目は友人関係などであったと回答があった。また、インフルエンザの予防接種の学生の接種率はどうだったかとの質問に対しては、学園に医師を派遣してもらい教職員・学生の希

	望者に11月に100名程度インフルエンザの予防接種を実施したが、教職員に比較して学生の接種率は低率であったと回答があった。ただし、手洗い・マスク着用・換気などをこまめにやった成果もあり、インフルエンザの集団感染はこれまでのところないと回答があった。その他学生支援については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
教育環境	教育環境については、在校生保護者から、今村学園は新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となった時などで登校できない場合でも、個別のオンライン授業も充実しており、学生にとってとてもありがたかったとコメントがあった。学園は、全国的に緊急事態が宣言されたのを機に、全員にノートパソコンまたは貸出用タブレットを早急に準備し、遠隔授業への対応を行ったことから、新型コロナ感染症による教育上の大きな遅れはほぼなかったものと考えていると付け加えがあった。令和4年度における教育環境については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
学生の受け入れ募集	令和4年度と比較して令和5年度の募集に何か特徴的な変化があるかについて評議員委員から質問があった。それに対して事務局から、令和5年度は4年度とほぼ同数の在籍学生数でスタートする予定で、コロナ前と比較して多い数であることから、新型コロナウイルス感染症の影響で、未だ県外への就職・進学が以前の段階に戻っていないのではないかとも考えられる。令和6年度の募集の動向を少し心配していると回答があった。その他学生の受け入れ募集について委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
財務	新型コロナウイルス感染症も終息に向かっているようにもみえるが、感染症は今のところ学園の財務にどのような影響があるかと複数の委員から質問があった。それに対し、学園からは、感染症の影響で県外へ就職する高校の卒業生が非常に少なくなったようで、県内志向の高まりのため、ここ2年間は学園への入学者が新型コロナ蔓延前と比較して増加し、そのため財務に関しては、プラスの方向であったと考えていると回答があった。その他財務に関して

	は、委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
法令等の遵守	在学生の保護者から、学校自己評価の公表の内容に対して意見等を受けることがあるかと質問があった。それにに対し、これまで学校自己評価の内容について問題点など指摘されたことは無いと回答があり、今後は入学時のオリエンテーション等で保護者へ学校自己評価ならびに学校関係者評価がホームページ上に掲載されていることをもっと周知することが必要だと思うとの考えが示された。その他法令等の遵守に関しては、委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。
社会貢献・地域貢献・国際交流	留学生の受け入れは今年度、来年度はどのような状況かと同窓会委員から質問があり、ここ2年間は一人も留学生の受け入れは無いと回答があった。また、今後の経営において留学生の受け入れ態勢を構築することは必要であると考えていると回答があった。その他社会貢献・地域貢献・国際交流については特に話題になることはなく、学校自己評価とおりで問題ないと了承された。

以上